

実質収支に関する調書

実質収支に関する調書で示された計数は、一般会計及び特別会計ともに正確であると認められた。

各会計の実質収支の状況は、次のとおりである。

区 分		金額 (千円)
一	一般 会 計	429,800
特 別 会 計	簡 易 水 道 事 業	0
	下 水 道 事 業	4,436
	農 業 集 落 排 水 事 業	125
	浄 化 槽 整 備 事 業	139
	市 場 事 業	0
	土 地 区 画 整 理 事 業 換 地 清 算	0
	浅 内 財 産 区	813
	常 盤 財 産 区	2,118
	鶴 形 財 産 区	232
	檜 山 財 産 区	236
	国民健康保険 (事業勘定)	268,721
	国民健康保険 (直営診療施設)	472
	老 人 保 健 医 療	-18,923
	介 護 保 険 (保 険 事 業 勘 定)	217,183
	介 護 保 険 (介 護 サ ー ビ ス 事 業 勘 定)	0

※千円以下の端数は、各会計ごとに調整している。

財産に関する調書

財産に関する調書は、公有財産（土地、建物、山林、無体財産権、有価証券、出資による権利）、物品、債権及び基金等に分類し、前年度末現在高、当年度中増減高、当年度末現在高に整理されている。

それぞれ関係書類と照合した結果、いずれも符号しており誤りはないものと認めた。

財産の当年度における異動及び当年度末現在高の状況は、次のとおりである。

1 一般会計・特別会計

(1) 公有財産

区 分		単位	前年度末現在高	当年度中増減高	当年度末現在高
土 地	行 政 財 産	m ²	2,559,070	24,025	2,583,095
	普 通 財 産	m ²	15,129,886	2,743	15,132,629
	計	m ²	17,688,956	26,768	17,715,724
建 物	行 政 財 産	m ²	295,584	-2,897	292,687
	普 通 財 産	m ²	6,926	-107	6,819
	計	m ²	302,510	-3,004	299,506
山 林		m ²	19,954,282	-63,393	19,890,889
		m ³	580,322	13,772	594,094
無 体 財 産 権		件	9	-1	8
有 価 証 券		株	6,776	0	6,776
出 資 に よ る 権 利		千円	344,451	90	344,541

(2) 物品

区 分	単位	前年度末現在高	当年度中増減高	当年度末現在高
物品（取得価格50万円以上）	点	893	-6	887

(3) 債権

区 分	単位	前年度末現在高	当年度中増減高	当年度末現在高
債 権	千円	501,926	-9,332	492,594

債権の年度末現在高は492,594千円で、前年度と比較して9,332千円の減である。

この主な内容は奨学資金貸付金263,805千円、地域総合整備資金貸付金153,903千円である。

(4) 基金

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	当年度中増減高	当年度末現在高
財 政 調 整 基 金	1,704,913,542	-126,689,000	1,578,224,542
災 害 救 助 基 金	18,062,735	-67,364	17,995,371
消 防 団 員 罹 災 給 与 基 金	18,452,381	486,894	18,939,275
庁 舎 建 設 基 金	945,712,043	171,216	945,883,259
奨 学 基 金	166,942,460	-11,511,000	155,431,460
ふ る さ と 創 生 基 金	562,007,000	0	562,007,000
地 域 振 興 基 金	—	500,000,000	500,000,000
減 債 基 金	551,804	262	552,066
土 地 開 発 基 金	101,836,777	-61,836,777	40,000,000
福 祉 基 金	272,525,456	-2,027,106	270,498,350
国民健康保険事業財政調整基金	87,256,000	91,618	87,347,618
介 護 給 付 費 準 備 基 金	87,435,246	49,931,000	137,366,246
図 書 館 建 設 基 金	36,613,413	39,971	36,653,384
き み ま ち 恋 文 基 金	447,000	5,447	452,447
国民健康保険診療所財政調整基金	562,000	1,000	563,000
簡 易 水 道 基 金	9,399,000	1,689,000	11,088,000
計	4,012,716,857	350,285,161	4,363,002,018

当年度では、新たに合併特例債を活用し地域振興のために積み立てるものとして地域振興基金を創設し16基金となった。16基金中5基金で取り崩しが行われており、取り崩しの主なものは、財政調整基金の126,689,000円や土地開発基金の61,836,777円などである。一方、地域振興基金で500,000,000円を積立したことなどによって、基金全体の当年度中増減額は350,285,161円の増で、当年度末現在高は4,363,002,018円となっている。

災害救助・消防団員罹災給与・庁舎建設の3基金では、5年満期の定期を2年経過したところで、多くの利率が見込まれる、新しい1年定期に切り替えした。これにより、5年定期としての中間利払いを受けていたため、解約と同時に、この中間利払い分を返還している（利子返還額）。

3 基金の当年度中増減高内訳

○災害救助基金

基金取崩額451,000円、基金積立額398,336円、利子返還額 14,700円 合計 -67,364円

○消防団員罹災給与基金

基金積立額501,594円、利子返還額 14,700円 合計 486,894円

○庁舎建設基金

基金積立額327,782円、利子返還額156,566円 合計 171,216円

2 財産区

浅内・常盤・檜山の3財産区では、5年満期の定期を2年経過したところで、多く利率が見込まれる、新しい1年定期に切り替えした。これにより、5年定期としての中間利払いを受けていたため、解約と同時に、この中間利払い分を返還している（利子返還額）。

(1) 浅内財産区

区 分	単位	17年度末現在高	当年度中増減	18年度末現在高
土地及び建物	m ²	2,595,241	0	2,595,241
山 林	m ²	2,452,005	0	2,452,005
	m ³	79,931	3,664	83,595
	本	7,200	0	7,200
出資による権利	円	400,000	0	400,000
基金	円	166,728,000	659,308	167,387,308

基金積立額689,000円、利子返還額29,692円で、差引659,308円を基金に積み立てている。

(2) 常盤財産区

区 分	単位	17年度末現在高	当年度中増減	18年度末現在高
土地及び建物	m ²	7,567,636	-157	7,567,479
山 林	m ²	9,858,025	0	9,858,025
	m ³	282,137	14,727	296,864
	本	8,490	0	8,490
出資による権利	円	400,000	0	400,000
基金	円	33,703,000	-1,087,700	32,615,300

基金取崩額1,073,000円、利子返還額14,700円で、合計1,087,700円を基金から取崩している。

(3) 鶴形財産区

区 分	単位	17年度末現在高	当年度中増減	18年度末現在高
土地及び建物	m ²	1,276,853	0	1,276,853
山 林	m ²	1,034,140	0	1,034,140
	m ³	37,884	2,708	40,592
出資による権利	円	228,000	0	228,000
基金	円	15,687,000	-536,000	15,151,000

土地等に異動はなく、基金取り崩し536,000円で 基金残高15,151,000円となっている。

(4) 檜山財産区

区 分	単位	17年度末現在高	当年度中増減	18年度末現在高
土地及び建物	m ²	2,538,810	553	2,539,363
山 林	m ²	2,151,359	0	2,151,359
	m ³	53,880	5,686	59,566
出資による権利	円	400,000	0	400,000
基金	円	41,767,000	-3,317,200	38,449,800

基金取崩額3,292,000円、利子返還額25,200円で、合計3,317,200円を基金から取崩している。